



門沢橋がある。事前の調査では沢の名前がわからなかったのだが、橋の名前から沢名を特定することができた。

さっそく沢に降りて身仕度をする。沢はすぐ二俣となっていて、左俣に入る西・大西パーティと別れ、私達は右俣に入る。

この沢は、地図から見ても滝は期待できそうにないが、間違っただひとつぐらいあってもいいんじゃないかと思いながら進行開始。

地図を確認しながら、最短コースで尾根に出ることに注意を払いながら進むが、ただの河原歩きに終始する。約2時間で登山道に出る。ヤブこぎも、そう苦勞することもなかった。台倉高山へは10分程で着く。(記・

[タイム] 出合(6:40)→右沢出合(7:55)→沢終了(8:40)→尾根(9:00)

馬ノ沢

トヤス沢支流無名沢

1985年8月4日

I

8:40下降開始。5分程でルンゼ状の流れに出、それについて15分

程下った所で本流に出る。本流の方を少し遡って見たが、何もない。「ああ、この沢もハズレか」と思いつつ、下降にかかる。

しばらく下ると、小さなナメが出てきた。「少し様子が違うぞ」と思っているうちに、目の前が切れ落ちて、15mの滝。右岸のブッシュを利用しながら下る。「この沢も平凡で何もないに違いない」と思いこんでいただけにすっかりうれしくなってしまった。

このあと更に4~5mの滝が二本出てくる。期待に反して(?)の滝だけに、騒ぎながら下り、10:10林道に出た所で下降終了とする。

(記

[タイム] 下降開始(8:45)→本流(9:00)→下降終了(10:10)

